

# 麦の穂

106

令和8年  
5月8日発行

医療法人 光臨会  
荒木脳神経外科病院  
Araki Neurosurgical Hospital

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 勇人

## 新年度を迎えて

春の訪れとともに、新しい年度が始まりました。本年度は24名の新入職員を迎えることができました。日頃より荒木脳神経外科病院に温かいご支援とご協力を賜っております地域の皆さま、ならびに関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。

医療法人光臨会のミッションは、「地域の人々の尊厳と安心を守り、専門性と温かさで地域を支える」ことです。荒木脳神経外科病院は今後も、脳疾患の専門医療、地域に根ざした医療、そして地域医療支援病院としての役割を大切にしながら、地域包括ケアシステムを支える存在であり続けたいと考えております。

2026年は診療報酬改定の年であり、救急搬送患者の受け入れ実績や地域医療への貢献が、これまで以上に重視される節目の年となります。私たちは制度への対応にとどまることなく、「地域の安心を守る」という本来の使命を改めて見つめ直し、受け入れ体制のさらなる充実に取り組んでまいります。

その具体的な取り組みとして、この4月より、副院長の磯部尚幸が新院長に就任いたしました。これまで当院が積み重ねてきた診療と地域連携の実績を礎に、新たな体制のもとで、より一層質の高い医療の提供と地域への貢献に努めてまいります。

また、当院では本年5月に救急医療体制の強化を予定しており、院内では救急センターとしての機能整備を進めております。平日の日中には、脳疾患に限らず幅広い救急搬送に対応し、地域の医療機関の皆さまと連携しながら、地域全体を支える救急医療体制の一翼を担ってまいります。

県立広島病院で救命救急センター長を務めてこられた楠真二先生を4月に新たに迎え、救急医療体制（院内救急センター機能）の立ち上げを担っていただきます。さらに、4月から脳神経外科専門医の岡村朗健先生にも常勤医として加わっていただくこととなりました。

新年度も、皆さまに信頼される病院を目指し、職員一同力を尽くしてまいります。今後とも、ご指導、ご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

令和8年4月  
医療法人光臨会  
荒木脳神経外科病院  
理事長 荒木 勇人

### もくじ

- 1 新年度を迎えて
- 2 新任医師就任挨拶 / 第11回オープンカンファレンス
- 3 2025年度診療統計
- 4 第51回広島県病院学会にて当院職員が優秀賞を受賞 / 令和7年 光臨会 忘年会
- 5 入職1年後フォローアップ研修 / 管理栄養士のおすすめメニュー

## 新任医師就任挨拶



このたび、4月より荒木脳神経外科病院に赴任いたしました、楠 真二と申します。

私は1990年に広島大学を卒業後、20年間は麻酔科医として広島大学病院、中国労災病院、北九州総合病院、神戸市立中央市民病院等で、麻酔、全身管理、救急医療、集中治療、ペインクリニックの研鑽を積んで参りました。2010年からは、県立広島病院救命救急センターにおいて救急科専門医として救命救急・集中治療に携わるとともに、日本DMAT隊員として災害医療にも従事して参りました。

救急車で搬送される患者様は、発症当初は原因や緊急性の程度が明らかでないことも少なくありません。そのような状況下で、疾病の種類に関わらず速やかに受け入れ、適切な診療科と連携して迅速かつ安全に治療を進めることが、救急科専門医の役割です。また、病院連携の維持・発展に関与し、地域全体の安全確保の中核を担うことも重要な責務であると考えております。

当院は脳神経外科の専門病院ですが、救急患者様は多様な併存疾患を抱えていることも多くございます。今後は、これまでの全身管理や救急・集中治療の経験を活かし、専門各科と密に連携しながら、より迅速かつ安全な受入れ態勢を構築して参る所存です。

生まれ育った広島市西区において、地域の医療機関・介護施設の皆様と手を取り合い、地域医療に貢献できるよう全力を尽くして参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



このたび広島大学脳神経外科の医局より当院への人事を受け、2026年4月より勤務させて頂くこととなりました岡村 朗健 (あきたけ)と申します。

2008年に広島大学を卒業後、呉医療センターで初期臨床研修、その後は広島大学脳神経外科に入局後、広島大学病院、安佐市民病院、松江赤十字病院、松山赤十字病院、JA広島総合病院、太田川病院、たかの橋中央病院で脳神経外科診療の研鑽を積んで参りました。

現在の専門はてんかん、特に脳磁図で、こちらは月曜日に広島大学病院で診療をしております。他にも脳血管内治療、機能的脳神経外科、正常圧水頭症の手術など様々な分野にも力を入れて取り組んで参りました。

当院はとりわけ脳卒中急性期に力を入れていると伺っております。まずは環境に早く慣れ、微力ながら最適な医療を提供できるよう、精進していこうと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 第11回オープンカンファレンス

去る令和7年12月18日、当院にて「第11回オープンカンファレンス」を会場とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。日本イーライリリー株式会社の協賛により実施し、地域の医療関係者を中心に多数のご参加をいただきました。

講演1では、当院副院長(現院長) 磯部 尚幸が「認知症と関連する脳外科疾患」について講演しました。正常圧水頭症や慢性硬膜下血腫など、認知症と症状が類似する脳外科疾患を取り上げ、鑑別診断の重要性を解説しました。

講演2では、医療法人慈風会厚地脳神経外科病院 理事長 厚地 正道 先生を講師に迎え、「介護保険から要介護1・2が除外される日に備えて～日本脳神経外科認知症学会認定による認知症診療～」についてご講演いただきました。制度改正の動向と、専門的な認知症診療の役割について示唆に富む内容が共有されました。

本カンファレンスを通じて、地域の医療に携わる皆さまと知識を共有する良い機会となりました。ご参加いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。今後も、地域に開かれた情報提供の場づくりに努めてまいります。



副院長(現院長)  
磯部 尚幸



厚地 正道 先生

地域連携推進部 岡崎 ちづる

# 2025年診療統計

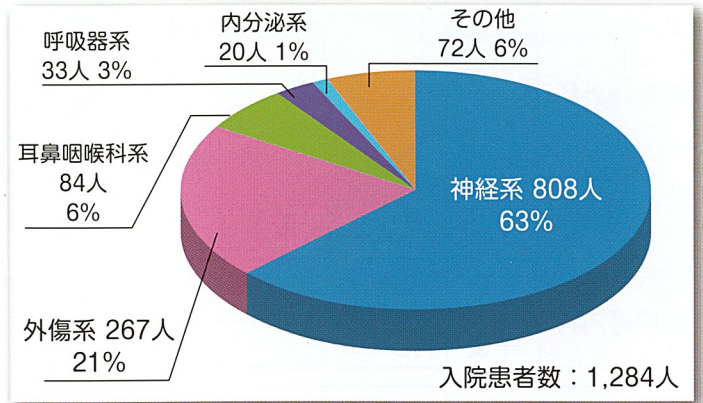
## 疾病別入院患者数

2025年の1年間に当院に入院された患者さんの疾病分類です。

疾病別分類は、DPC制度で使用される主要診断群(MDC)を用いて分類しています。

当院は、脳卒中を中心とした脳神経外科領域を中心に診療を行っていますので、脳神経外科の疾患が多く分類される「神経系」が入院患者の約2/3を占めています。

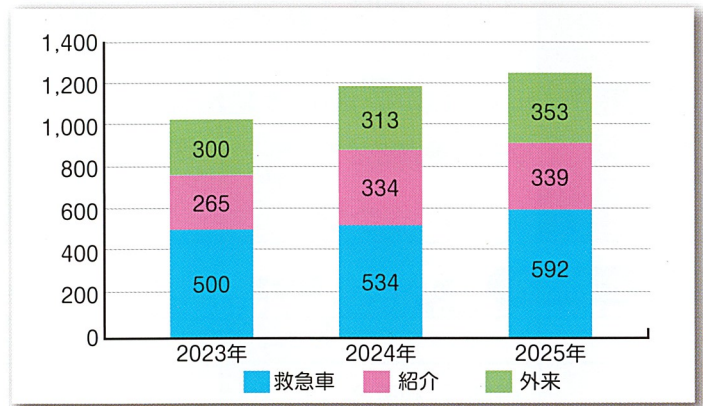
神経系の中でも脳卒中は547件と神経系の中の約7割、入院全体の4割を占めます。



## 入院経路別患者数

2023年から2025年までの入院患者さんの来院経路を「救急車」、「紹介」、「外来」の3つに分けて表記しています。

当院は、広島地区病院群輪番制病院に参加しており、救急車から入院される患者さんの割合が多いのが特徴ですが、2025年はいずれの入院経路も前年度よりも数を伸ばしています。

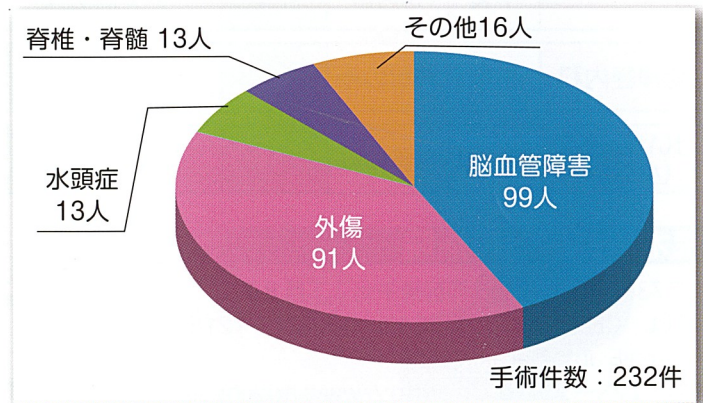


## 脳神経外科手術実施件数

2025年の当院脳神経外科領域における手術総数は、232件です。

最も多い症例は、脳血管障害に関する手術で99件、次いで外傷の手術を91件行いました。

脳血管障害の手術において、当院では、近年脳血管内手術に力を入れております。特に主幹動脈閉塞に対する緊急の血管内手術も24時間365日対応しています。



## 画像診断機器の稼働状況

右記の表は過去3年間の画像診断機器の稼働状況です。

MRI検査は、2023年4月に3.0T:2台、1.5T:1台の3台体制から、3.0Tのみの2台体制に変更しました。CT検査は2023年12月最新の80列MDCTに機器を更新しました。

なお、当院では画像診断センターを併設しており、近隣の医療機関からの紹介にて検査を実施し、画像データ及び診断レポートをお返ししています。画像診断センターのご利用に関しましては、下記の番号へお気軽にご連絡ください。

画像診断センター TEL:082-273-4890 (直通)

	2023	2024	2025
MRI 2台 (3.0T: 2台)	9,198	9,370	8,981
(画像診断センター利用)	2,616	2,495	2,501
CT 1台 (マルチスライス型)	6,690	7,812	7,937
(画像診断センター利用)	948	1,150	1,026
DSA (脳血管撮影のみ)	64	70	62

## 第51回広島県病院学会にて当院職員が優秀賞を受賞

令和8年2月15日、広島県医師会館で開催された第51回広島県病院学会において、当院地域連携室長の小山 美咲 看護師長が演題発表を行い、優秀賞を受賞しました。

令和8年2月15日（日）に開催された第51回広島県病院学会に参加し、「病棟内教育体制の見直し～新入職・中堅看護師の定着を目指して～」をテーマに発表を行い、優秀賞をいただきました。

看護の質を維持・向上させるためには、教育の充実だけでなく、育成した看護師が安心して働き続けられる環境を整えることが大切であると考えています。脳卒中集中治療室（SCU）では特有の知識や技術が求められ、既卒者であっても経験に応じた支援が必要となるため、指導を担う中堅看護師の負担が大きいという課題がありました。そこで、教育体制の見直しと教育内容の標準化・可視化に取り組み、中堅看護師の負担軽減と、新入職者が目標を持って学べる環境づくりを進めました。その結果、スタッフの定着につながる可能性が示されました。

今後も、スタッフ一人ひとりが安心して成長し、質の高い看護を継続的に提供できる体制づくりに取り組んでまいります。

地域連携室長・看護師長 小山 美咲



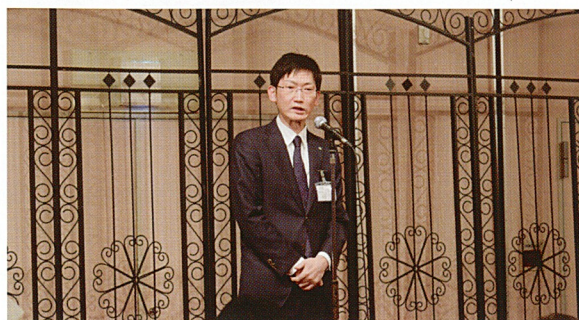
## 令和7年 光臨会 忘年会

令和7年12月19日ホテル広島サンプラザにて、職員ならびに来賓の皆様を迎え、総勢180名で行われました。

荒木 勇人 理事長の挨拶で幕を開け、日頃の業務に対するねぎらいの言葉が述べられました。続いて、来賓を代表して広島市医師会会長 山本皮膚科医院 院長 山本 匡 先生よりお言葉を頂戴しました。その後、理事長より「地域とともに歩む光臨会のこれから」と題して講演があり、光臨会の歩むべき方向性を示されました。そして、広島県議会議員 山木 茂 様の乾杯の発声をもって祝宴が始まり、和やかな雰囲気の中、部署の垣根を超えて交流が広がりました。会の中盤、接遇表彰が行われ、全職員の中から3名が表彰されました。また、光臨会の取り組みとして、『コスト削減プロジェクト』の報告がありました。会の終盤には恒例の大抽選会が行われ、会場は大いに盛り上がりました。最後は、磯部 副院長（現院長）の挨拶で一年を締めくくり、散会となりました。

これからも、患者中心の医療を提供できるよう光臨会一丸となって、日々の業務に取り組んでいきたいと思っております。

福利厚生委員 山田 浩二



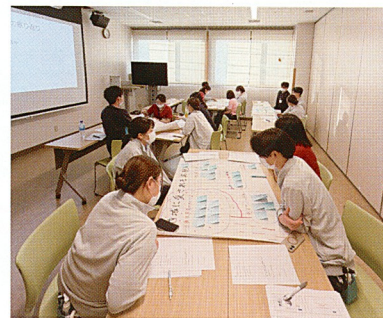
理事長 荒木 勇人



## 入職1年後フォローアップ研修

去る3月17日、昨年4月に新卒で入職した職員を対象としたフォローアップ研修を行いました。第1部では荒木 勇人 理事長の講話、続いて入職時の研修で立てた目標の振り返りと、より良い法人にするために自分たちにできることについて、グループワークを行いました。第2部では、各部署長も加わり、オードブルを囲んで交流会を行い、互いの労をねぎらいました。光臨会では引き続き、定期的なフォローアップ研修を行っていく予定です。

教育委員会 木村 隼人



## 管理栄養士のおすすめメニュー

脳卒中を予防するための食事のポイントは、基本的に1日3食食べることです。主食、主菜、副菜(汁物)を合わせた一汁三菜が理想的です。塩分控えめにしたり、脂肪の取りすぎに注意したりすることも重要ですが、脳卒中の予防に効果的な栄養素を含む食べ物もあります。無理の無い範囲で取り入れてみましょう。

### ① DHA・EPA

血液をサラサラにしたり、悪玉コレステロールの数値を下げる働き。サバやサンマなどの青魚に多く含まれる、熱に弱いのでできれば生で食べるのが望ましい。

### ② ビタミンC

美肌効果もあるが抗酸化作用があるのも特徴。脳の酸化ストレスを抑えることで動脈硬化が原因で起こる脳卒中を予防できる効果が期待されている。

### ③ 食物繊維

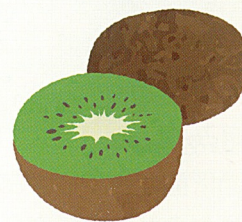
整腸効果もあるが、コレステロール値を下げる働きがある。

### ◆キウイフルーツ

ビタミンCが多いので風邪予防に効果的です。血圧を下げるカリウムも多く含んでいるため高血圧や動脈硬化の予防効果が期待できます。キウイに含まれるタンパク質分解酵素は消化を促進する効果もあります。

果肉が緑色のグリーンキウイ、黄色のゴールドキウイが大半を占めていますが果肉に赤味がさすものやベビーキウイなどもあります。

国内では1年中出回っていて、4月～12月は外国産、12月～4月は国内産が店頭に並びます。



### ☆キウイとツナのサラダ (2人分)

グリーンキウイ	2個	1, グリーンキウイは皮をむき、
きゅうり	2本	縦4等分にしたら斜めに2等分に切る
ツナ缶	1缶 (70g)	2, きゅうりはキウイに合わせた乱切り、
ミニトマト	3個	ミニトマトは縦に4等分に切る
A	-----	3, Aを混ぜ合わせる
ツナ缶のオイル	全量	4, 1・2とツナを軽く混ぜ合わせて器に盛る。
レモン果汁	大1	その上に3をかける
塩コショウ	少々	

外来担当医表 〈荒木脳神経外科病院〉

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初診	江本	中原	岡村	岡村	磯部	広大
		初再診	荒木理事長	磯部		磯部		
					9:00~10:30 荒木理事長		9:00~10:30 荒木理事長	
	午後	初再診	磯部	広大	広大	江本	岡村	広大

脳神経内科	午前	初再診		荒木睦子		久保田	荒木睦子	荒木睦子
	午後	再診のみ				第1・3・5、15:00~16:00 荒木睦子		

総合診療	午前	初再診	野村 (循環器内科)	浅本 (消化器内科)	野村 (循環器内科)	浅本 (消化器内科)		藤井 (外科:1週) 野村 (循環器内科: 2・3・4・5週)
	午後	初再診	藤井 (外科)	浅本 (消化器内科)	藤井 (外科)	浅本 (消化器内科)	藤井 (外科)	藤井 (外科:1週) 野村 (循環器内科: 2・3・4・5週)

**診察時間**

午前 9時～12時  
(初診受付:午前 11時 30分迄)  
午後 3時～6時  
(初診受付:午後 5時 30分迄)

診察予約は  
**082-272-1114** (代表)  
へお電話ください。

救急は 24時間受付けております

※土曜日の担当医は、  
交代とする。

外来担当医表 〈あらし脳・循環器・リハビリクリニック〉

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初再診	江本		江本		江本	江本
	午後	初再診	江本		江本		江本	江本

脳神経内科	午前	再診のみ				荒木睦子		
-------	----	------	--	--	--	------	--	--

けいれん外来 (小児科)	午前午後	再診のみ		岸		岸	岸	
-----------------	------	------	--	---	--	---	---	--

**診察時間**

午前 9時 30分～12時 30分  
(初診受付:午前 12時迄)  
午後 2時 30分～5時 30分  
(初診受付:午後 5時迄)

※内科 正木先生  
毎週火曜

荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北 2丁目 8-7  
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-1218  
E-mail info@arakihp.jp  
ホームページアドレス http://www.arakihp.jp



ARAKI HEALTHCARE PLAZA

〒733-0821 広島市西区庚午北 1丁目 5-15

1F デイサービス あらし

TEL 082-507-6100

1F 荒木居宅介護支援事業所

TEL 082-507-6300

2F あらし脳・循環器・リハビリクリニック

TEL 082-208-4114

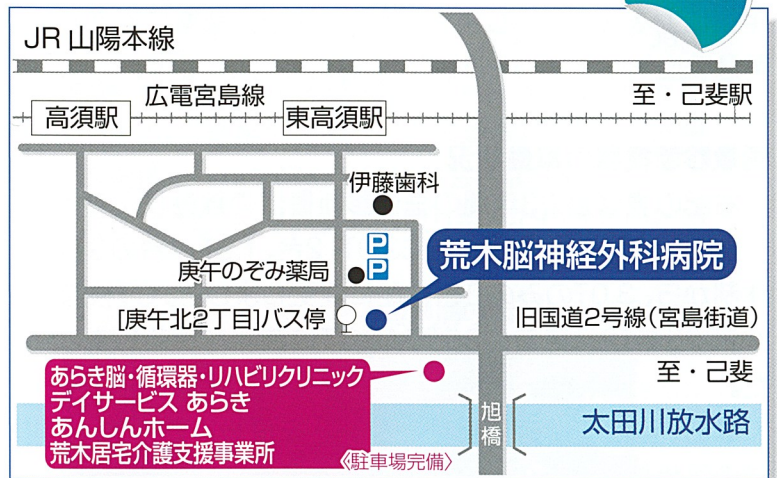
通所リハビリテーション TEL 082-208-4177

訪問リハビリテーション TEL 082-527-1123

4・5F あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

TEL 082-507-6600

案内図



- 自動車  
西広島バイパス「庚午出口」より  
宮島方向へ100m(宮島街道沿い)
- 広島電鉄・宮島線 / 「東高須」下車 徒歩3分
- 広島バス25号線 / 「庚午北2丁目」バス停前